

じっくり心をこめて

スロー フード

71



五目味噌

味噌は古来より、日本の食生活における主要なタンパク源でした。現在では欠かすことのできない、おいしさを深める調味料として日本料理はもとより、洋食、中華、さらにスイーツなど幅広く使われています。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材料 (5人分)

- ・干しいたけ 4枚
- ・かんぴょう 30cm
- ・打ち豆 10g
- ・こんにゃく 25g
- ・にんじん 40g
- ・ごぼう 40g
- ・油 小さじ1
- ・酒 大さじ1と1/3
- ・みりん 大さじ2と2/3
- ・しいたけの戻し汁 大さじ1と1/3
- ・砂糖 大さじ2と1/2
- ・みそ 大さじ4～5

作り方

干しいたけ、かんぴょうは戻してせん切りにする。
にんじん、ごぼう、こんにゃくは1.5cm長さの短冊切りにする。
フライパンに油を入れ、全ての材料を炒める。
酒、みりん(大さじ1と2/3)、砂糖、しいたけの戻し汁を加え、炒り煮にして材料がやわらかくなったら、みそを入れてさらに炒める。
仕上げに、みりん(大さじ1)を入れて照りをだす。

せきかわ文芸

短歌



帰り行く曾孫に握らすお年玉あと幾年の
笑顔見れるや
(高田)

大吹雪山野を駆る季節きて寒九の飴炊く
祖母を偲びて
(愛広苑)

この地に住み終の住家よ百返も強く
優しく生きたく思ふ
(愛広苑)

箱根路を目指す駅伝スタートす応援人も
旗も続き
(下関)

若きらのブーツ華やぐ玄関は老いも
なごみし年の瀬賑おう
(辰田新)

七冊を吾に持ちくれしその一に
「能の物語」子は読めとこう
(上関)

渡辺千恵子

山口 藤枝

小池 啓子

高橋 イツ

(愛広苑)

佐藤 庄七

(高田)

須貝 恵美

近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

加藤善吉



地域林業の振興に貢献した加藤善吉は昭和六年五月十二日関川村鮎谷に加藤留吉の長男として出生。昭和二十五年三月三十一日新潟県立村上高等学校卒業。昭和三十六年十二月関川森林

組合が設立されると同時に理事に就任。平成四年五月に組合長に就任するまでの三十年間、その後組合長の要職に就任して五年間、代表理事組合長として十年間の合計四十五年間の長きにわたって、一貫して堅実な組合経営に努め、森林組合の発展に力を注ぐとともに地域林業の振興に尽力した。森林・林業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、特用林産物である椎茸栽培に着目し、平成六年九月に㈱カネボウ椎茸事業部と菌床椎茸栽培の業務委託を結び、栽培用ハウス等の施設導入を進めて七棟の発生舎を建設、椎茸生産に着手した。平成十年度から十二年度にかけて、県単事業「きのこの里づくり」を活用し発生舎六棟を増築、生産量の増加を図った。その後も椎茸集出荷施設を整備し、増産に対応できる集荷、販売システムづくりに努め、地域における椎茸栽培の中核的役割を担うまでに育て上げた。

また販売先についても、県内の主要スーパー量販店と契約を結び、三百六十五日の出荷体制を整備、全農関連企業や生活協同組合を通じて関東圏への出荷量を増強して、「あらかわ椎茸」のブランドで高い評価を受けた。しかし平成十七年度をピークに国内受給は飽和状態となり、きのこの類の低迷がはじまったが、中京圏への出荷を強化するなど販売先の確保や優良椎茸の生産技術の研究に積極的に努めた。

この間菌種を仕入れていた㈱カネボウの倒産があったが仕入先を変更し、長年培った生産技術を生かし、この危機を乗り越えることができた。

平成十八年度の生産販売量は受託販売あわせて四百五十七トン、取扱高は椎茸販売と椎茸購買事業合わせて三億九千四百万円を計上するまでに育て上げた功績は特用林産物である椎茸の特産化と地域雇用創出の観点からも非常に大きいものがある。特に「安心、安全で美味しいあらかわ椎茸」として、現在、市場や消費者から高い評価を受けるまでのブランドとなっている。

多大な功績を挙げ、平成十九年五月三十一日をもって、関川村森林組合代表理事組合長を退任した。平成十九年十一月農林水産功労により新潟県知事より表彰を受賞した。

平成二十一年十月二十五日七十八歳でこの世を去った。

加藤家の系図
先祖……太四郎 留吉

八代
善吉 善彦

せきかわ文芸

関川俳句の会作品

降り止まぬ雪に籠りの日の多し

南 セツ

年賀状虎が今にも吠えそう

洪谷 くに

入院の食事に付くや三二御節

青木 慶一

嬉しさは祝ふ雑煮を代えること

佐藤 ノブ

早目覚め輝く日の出拝む幸

渡辺しづい

天と地をゆすり遠のく冬の雷

五十嵐貞子

せきかわ川柳会作品「改める」「苦手」

ファンルーム童心に返りサンタ待つ

佐藤 ノブ

新風が自立目指した過疎へ吹く

平田 千恵

閉めた鍵又改める物忘れ

南 セツ

年賀書き筆の走りを悔いている

本間 イミ

歯を磨き明日の言葉を作り出す

渡辺しづい

改まる年に百まで生きるぞと

高橋 イツ

(愛広苑)